

うつくしやまだより

学校の教育目標

自立をめざす生徒

～自分を生かし 社会に貢献できる人間になる～

学校だより

R2. 10. 30

山県市立美山中学校



<生徒のみなさんへ>

「はなれな祭」本当にユニークな命名ですね。これに代表されるように生徒会役員の人たちや支える3年生の力がとても大きいと感じました。感染予防対策で色々なことが制限されている中だからこそ、手作りの優勝旗やポスター、感染予防しながら楽しめる競技や進行みんなが楽しいと感じることができる時間を生み出してくれました。練習中や競技中に学級の仲間を思いやってくれる声、例えば円陣バレーでボールが遠くへ飛んでいったとき「〇〇さん、お願い！」と声がし、取れなくて「ごめん！」と謝る〇〇さんに「ナイスプレー！」と数人から反応がほんの5秒くらいの間にありました。思いやる気持ちが日頃からないと、とっさには出ない言葉でしたね。



オランダとフィンランドとオンラインでつながる学習を2年生で実施しました。オランダ



といえばチューリップや風車、他の国が真似た「三色の国旗」の原型で有名です。フィンランドはサンタクローズが住む村やムーミンのふるさと、世界一幸福な国として有名です。その二カ国と美山中がWi-Fiでつながって仕事についてお話を聞いた今回は、栗拾い体験に続くキャリア教育の第2弾です。2年生の子たちは真剣に話を聞いてメモをとったり、積極的に質問したり、とても熱心な学習ぶりでした。「好きなことを続けることが仕事につながる」「自分の苦手は周りの人に助けてもらえばいい」「自分も誰かの苦手を助けることができればいい」「周りの人にやりたいことを伝え続けることが大事」など、人生や働くことに役立つアドバイスをもらいました。今後は二カ国の中学生とも交流したいです。世界を見ることは、他国にあこがれをもつと同時に、地元美山の良さに改めて気付くチャンスになると思いますよ。

ふるさと探訪第2弾に1年生が出かけました。山県市文化財調査室の方にご指導いただき、山県市の歴史や文化に直接触れる学習でした。あいにくの雨でしたが、1年生のみなさんがとてもまじめに学習をしていたと、調査室の方からお褒めの言葉もいただきました。「麒麟が来る」でも話題になっていますが、地元山県市には歴史を語ってくれるこんな貴重な場所があるのだと誇りに思えるのは幸せなことですね。脚下照顧。自分の足元をしっかりと見つめることでこそ、さらに成長ができることがあります。



<保護者の皆様へ>

新型コロナウイルス感染は、一時のピークに比べるとやや落ち着いた感じに見えます。しかし、都会での新規感染者は高止まりで、ヨーロッパでは感染拡大の波は広がる一方です。心配しすぎと言われるかも知れませんが、やはり子どもたちの命やとくに高齢のご家族と同居されている家庭のことを思うと、気が抜けません。それでも、子どもたちの心が萎縮して鬱々としているままではいけませんので、感染予防対策を考えた上で、子どもたちの心を解放したり癒やしたりできる行事や授業を工夫しようと職員一同で頭をひねっています。ご心配な場合はもちろんですが、よいアイデアをおもちの場合も、ぜひ学校までご連絡くださいますようお願いいたします。